

伊勢・三河湾貧酸素情報 (R4-14号)

令和4年10月5日
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和4年10月3、4日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は以下のとおりです。

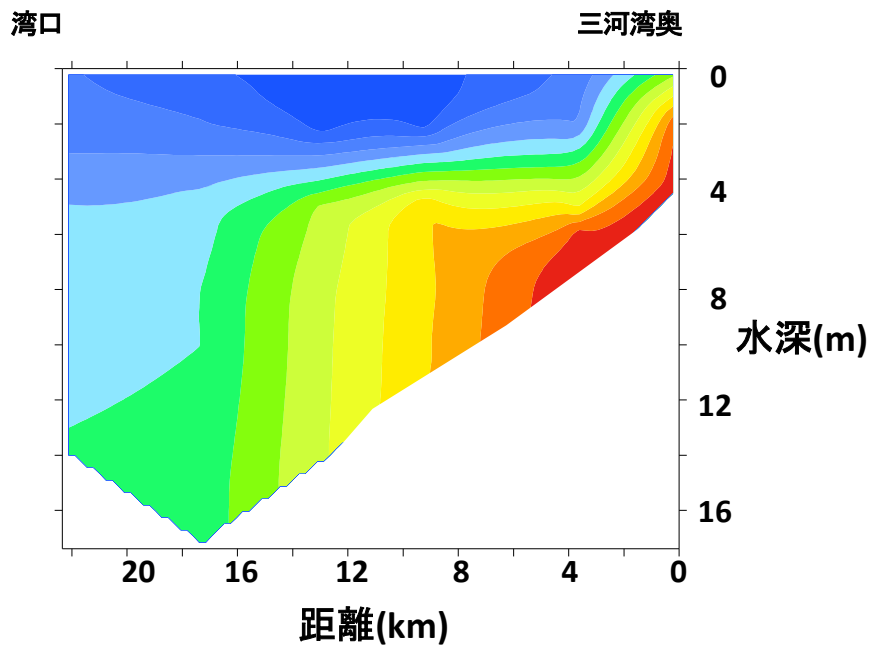
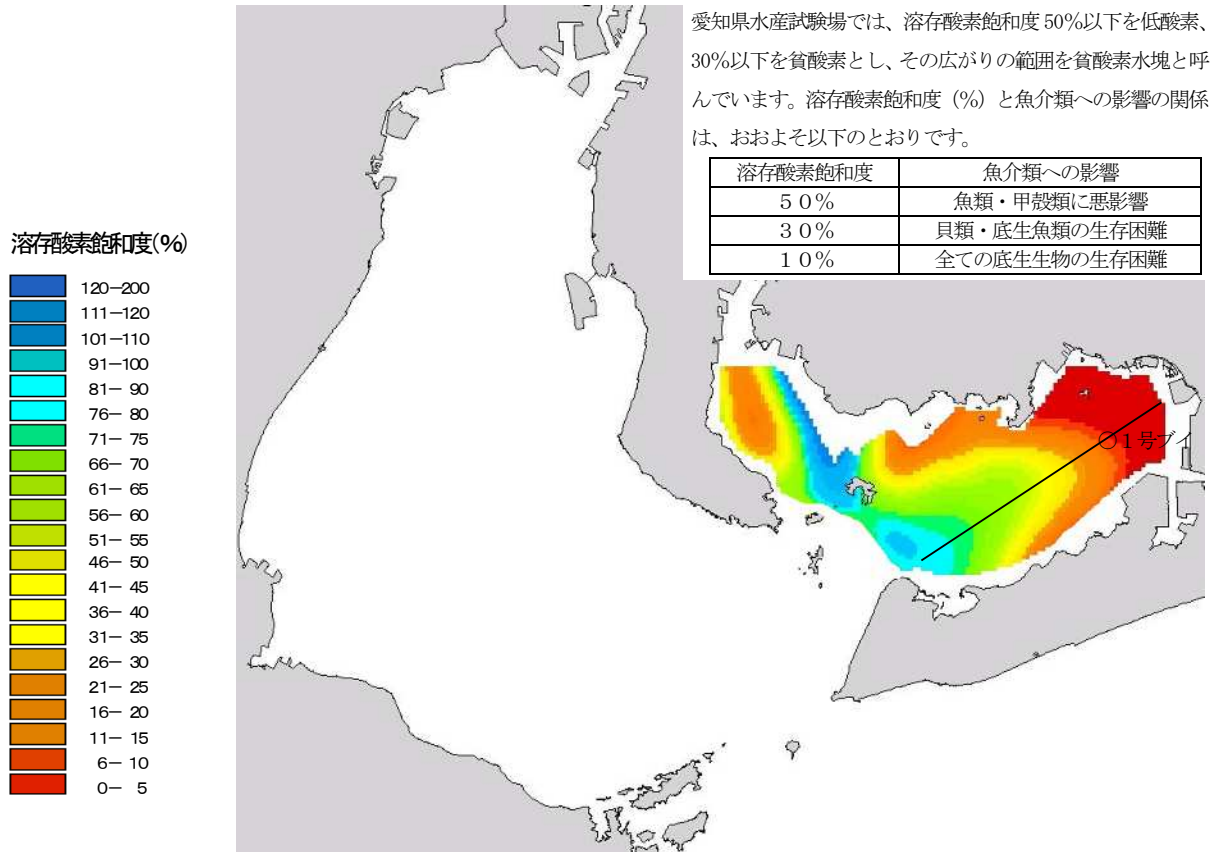


図1 三河湾(10月3、4日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)(愛知県「ちた」調査)

三河湾

10月3、4日の調査結果を図1に示しました。渥美湾では湾奥部、湾北部（蒲郡市西浦沖～西尾市吉田沖）、湾南部（田原市馬草沖）で溶存酸素飽和度30%以下の貧酸素水塊が確認されました。知多湾では、湾奥部から湾中央部にかけて貧酸素水塊が確認されました。前回調査時（9月27日：図3）と比べると、渥美湾、知多湾ともに貧酸素水塊が拡大していました。

三河湾海況自動観測ブイ（1号ブイ、蒲郡沖）のデータによると、9月27日以降、貧酸素水塊が発達し、10月4日には水深5m付近まで達していました。（図2）。9月下旬以降、好天が続いたことから、表底層間の密度差が生じ、貧酸素水塊が発達したものと考えられます。

今後は平年並みの気温が続くと予想されているため、徐々に表層水温が低下し、鉛直混合が進むことで貧酸素水塊は解消していくと予想されます。一方で、湾奥では貧酸素水塊が発達しているため、強風に伴う苦潮に注意が必要です。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	24.9～26.1	20.8～29.4
底層	24.3～27.0	26.4～31.8

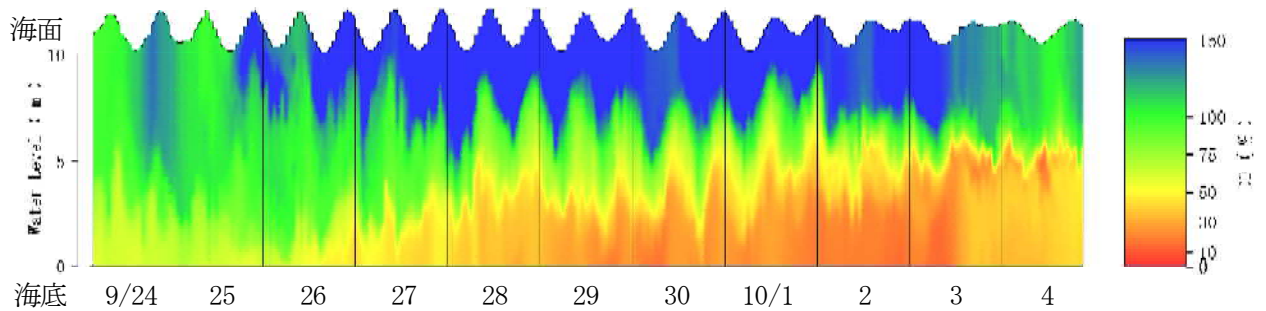


図2 溶存酸素飽和度（DO）の経時変化（三河湾海況自動観測ブイ、1号ブイ）

参考

前回調査時の三河湾底層の溶存酸素状況

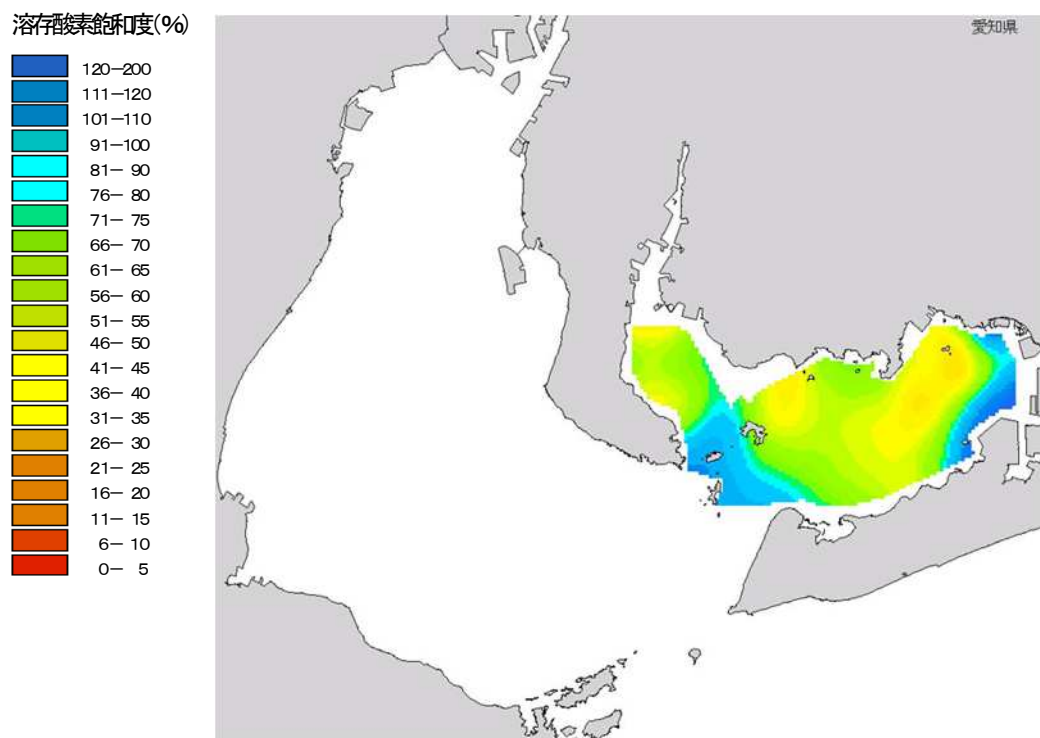


図3 令和4年9月27日（三河湾）